



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 トーモク

上場取引所 東 札

コード番号 3946 URL <http://www.tomoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 英男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 内野 貢

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,054	2.4	△419	—	△81	—	△20	—
23年3月期第1四半期	26,421	1.9	△701	—	△688	—	△509	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △432百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,201百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.22	—
23年3月期第1四半期	△5.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	104,459	39,617	36.8
23年3月期	109,676	40,355	35.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 38,401百万円 23年3月期 39,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,000	2.0	200	△81.4	300	△71.6	100	△73.2	1.07
通期	140,000	2.7	7,100	0.6	6,900	1.4	3,200	0.2	34.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	96,707,842 株	23年3月期	96,707,842 株
24年3月期1Q	3,200,396 株	23年3月期	3,199,525 株
24年3月期1Q	93,507,880 株	23年3月期1Q	93,522,125 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）は、3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う東電福島原発の事故によるサプライチェーンの寸断や計画停電等の電力不足、そして消費マインドの悪化や風評被害等から国内経済は大きく落ち込みました。その後サプライチェーンの復旧による生産の回復や個人消費の持ち直し等、国内経済は少しずつ上向きの動きが見られるようになってきました。しかし国内では夏の電力不足や出口の見えない原発問題、そして雇用情勢の回復の遅れ、海外では米国や中国・インド等の景気減速懸念、EU諸国の財政危機といった多くの不安材料を抱え、依然として先行き不透明な状況が続いています。

その中で当第1四半期連結累計期間の売上高は27,054百万円（前年同期比2.4%増）、経常損失は81百万円（前年同期は経常損失688百万円）、四半期純損失は20百万円（前年同期は四半期純損失509百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

[段ボール]

段ボールにおいては、東日本大震災で被災した仙台工場が4月15日には稼働を再開することができ、また夏の電力不足を見越したお客様の前倒し生産や西日本への生産シフト等により需要が堅調に推移したことから、売上高は19,331百万円（前年同期比3.2%増）となりましたが、本年3月に稼働を開始した館林工場の国内最速最新鋭コルゲータの償却負担増等により営業利益は1,537百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

[住宅]

住宅においては、東日本大震災による消費マインドの悪化を背景に新設住宅着工戸数の伸びが鈍化し、中でも戸建注文住宅のスウェーデンハウスが主力とする持ち家が減少に転じる等、足元の事業環境は厳しさを増してきています。このため売上高は2,967百万円（前年同期比9.7%減）、また売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅の特性もあり、営業損失は2,064百万円（前年同期は営業損失2,316百万円）となりました。

[運輸倉庫]

運輸倉庫においては、お客様の前倒し生産や西日本への生産シフト等により取扱量が増加し、また燃料価格が上昇しましたが生産性の向上や固定費の圧縮に努めた結果、売上高は4,755百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は295百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末比5,217百万円減少し104,459百万円となりました。負債は前連結会計年度末比4,478百万円減少し64,842百万円となり、純資産は前連結会計年度末比738百万円減少し39,617百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しとしては、日本経済は出口の見えない原発問題と電力不足の関西等への波及や長期化への危惧が大きな足枷となり、また海外の景気減速懸念やEU諸国の財政危機を背景に進む円高傾向といった厳しい環境の中で、引続き予断を許さない状況が続くものと予想されます。

その中で通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月6日に発表いたしました業績予想の達成に引続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,376	7,267
受取手形及び売掛金	21,802	21,861
たな卸資産	9,874	12,139
その他	4,626	5,536
貸倒引当金	△168	△72
流動資産合計	51,511	46,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,976	15,775
機械装置及び運搬具（純額）	11,865	11,789
土地	17,826	17,788
その他（純額）	1,308	1,394
有形固定資産合計	46,976	46,746
無形固定資産	524	532
投資その他の資産		
投資有価証券	7,218	6,988
その他	3,778	3,792
貸倒引当金	△333	△332
投資その他の資産合計	10,663	10,447
固定資産合計	58,164	57,726
資産合計	109,676	104,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,146	11,239
短期借入金	2,352	2,435
1年内返済予定の長期借入金	8,810	4,310
未払法人税等	1,169	340
賞与引当金	1,634	752
その他の引当金	564	375
その他	8,533	10,376
流動負債合計	35,211	29,829
固定負債		
長期借入金	26,365	27,337
退職給付引当金	2,456	2,493
その他の引当金	622	610
その他	4,665	4,570
固定負債合計	34,109	35,012
負債合計	69,320	64,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138
利益剰余金	14,701	14,400
自己株式	△663	△663
株主資本合計	38,846	38,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	53
繰延ヘッジ損益	242	197
為替換算調整勘定	△347	△395
その他の包括利益累計額合計	192	△143
少数株主持分	1,316	1,215
純資産合計	40,355	39,617
負債純資産合計	109,676	104,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	26,421	27,054
売上原価	21,751	22,293
売上総利益	4,669	4,761
販売費及び一般管理費	5,371	5,180
営業損失(△)	△701	△419
営業外収益		
受取利息及び配当金	123	110
持分法による投資利益	60	190
雑収入	89	252
営業外収益合計	273	553
営業外費用		
支払利息	167	143
為替差損	55	13
雑損失	36	57
営業外費用合計	259	215
経常損失(△)	△688	△81
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
減損損失	20	32
固定資産処分損	60	18
災害による損失	—	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	170	—
その他	5	5
特別損失合計	255	73
税金等調整前四半期純損失(△)	△944	△134
法人税、住民税及び事業税	306	319
法人税等調整額	△614	△363
法人税等合計	△307	△44
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△636	△90
少数株主損失(△)	△126	△70
四半期純損失(△)	△509	△20

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△636	△90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278	△244
繰延ヘッジ損益	△129	△44
為替換算調整勘定	△152	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△0
その他の包括利益合計	△565	△341
四半期包括利益	△1,201	△432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,048	△356
少数株主に係る四半期包括利益	△152	△75

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,735	3,287	4,397	26,421	—	26,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	82	—	787	870	△870	—
計	18,818	3,287	5,185	27,291	△870	26,421
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,541	△2,316	259	△516	△185	△701

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△185百万円には、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△195百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,331	2,967	4,755	27,054	—	27,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	—	803	847	△847	—
計	19,375	2,967	5,559	27,901	△847	27,054
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,537	△2,064	295	△231	△187	△419

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△187百万円には、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△198百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。